



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 AOI TYO Holdings 株式会社  
代 表 者 代表取締役 吉田 博昭  
代表取締役 中江 康人  
(コード番号 3975 東証第一部)  
問 合 せ 先 専務取締役 譲原 理  
(TEL. 03-3779-8415)

### 平成 29 年 12 月期 第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 15 日開催の取締役会において、平成 29 年 2 月 14 日に公表した平成 29 年 12 月期第 2 四半期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社は共同株式移転の方法により、平成 29 年 1 月 4 日付で株式会社 AOI Pro.及び株式会社ティー・ワイ・オーの完全親会社として設立されたため、前年同期の実績はございません。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 12 月期 第 2 四半期 連結業績予想数値 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 32,000	百万円 1,600	百万円 1,400	百万円 500	円 銭 21.12
今回修正予想 (B)	33,000	2,200	2,100	1,200	50.69
増 減 額 (B-A)	1,000	600	700	700	—
増 減 率 (%)	3.1	37.5	50.0	140.0	—

#### 2. 修正の理由

当社グループが事業を展開している国内広告市場(※1)においては、平成 29 年に入っても広告業売上高は概ね堅調に推移していますが、その中では、テレビをはじめとする従来型メディアを通じた広告が横ばいまたは減少気味である一方で、インターネット広告が高い伸びを示す傾向が続いています。

こうした中、平成 29 年 12 月期 第1四半期連結累計期間(※2)は、主力の広告映像制作事業を中心に着実に受注を重ね、また成長戦略と位置づける(デジタル関連を含む)体験設計事業も堅調に推移しました。受注状況も、第1四半期連結累計期間の受注高が 18,584 百万円、第1四半期連結累計期間末の受注残高が 14,261 百万円と、堅調に推移しております。同時に、案件受注段階からの厳格な精査・選別及び収益管理を徹底したこと

により、想定を超えて利益を積み上げ、高水準の利益率を確保しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高18,472百万円、営業利益1,820百万円、経常利益1,776百万円、親会社に帰属する四半期純利益1,016百万円となり、各段階利益については当第1四半期連結累計期間の時点で、平成29年2月14日に公表いたしました平成29年12月期第2四半期連結業績予想数値を超過しましたので、平成29年12月期第2四半期連結業績予想数値を上方修正いたします。

通期につきましては、当社の設立第1期であること、当社の各連結子会社において決算期変更後の最初の通常会計年度(平成29年1月1日～平成29年12月31日)であること等により、先行きが見通しづらいため、現時点においては平成29年2月14日に公表しました通期業績予想数値の修正はいたしません。

また、平成29年12月期の第2四半期及び期末配当予想につきましては、変更はありません。

各予想数値に修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

※1 特定サービス産業動態統計調査(経済産業省)によります。

※2 平成29年12月期第1四半期連結業績につきましては、本日公表いたしました「平成29年12月期第1四半期決算短信」をご覧ください。

※3 上記予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上